

名張市子ども教育ビジョン

社会を拓く次世代のための新たな教育をめざして



名張市子ども教育ビジョン 目次

- 第1章 計画策定にあたって
- 第2章 計画策定の背景
 - 1 教育の現状
 - 2 子どもの現状
 - 3 本市の現状と課題
 - 4 本市の教育と子どもの現状
 - 5 第一次教育ビジョンの検証
- 第3章 名張市のめざす教育
 - 1 基本理念
 - 2 目指す子ども像
 - 3 子どもに育みたい力
 - 4 基本方針
 - 5 体系図
- 第4章 新たな取組
- 第5章 基本目標と主な取組

第1章 計画策定にあたって

- 1 策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 計画の進行管理

第2章 計画策定の背景

- ▶ 1 教育の現状
 - ▶ (1) 就学前教育の推進
 - ▶ (2) 小中一貫教育の制度化
 - ▶ (3) 外部人材等の参画
- ▶ 2 子どもの現状
 - ▶ (1) 子どもの学び
 - ▶ (2) 子どもの発達
- ▶ 3 本市の現状と課題
 - ▶ (1) 現状
 - ▶ (2) 課題
- ▶ 4 本市の教育と子どもの現状
- ▶ 5 第一次教育ビジョンの検証



5 第一次教育ビジョンの検証

超少子高齢化、高度情報化、国際化の急速な進展

- ・経済の活力の減退
- ・地域間格差の広がり
- ・社会的・経済格差の固定化等の懸念



これまで以上に変化の激しい時代の到来

第3章 名張市のめざす教育



1 基本理念

未来を担う子どもの夢の実現のため、学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって子どもの教育に向き合います。

2 めざす子ども像

夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ばりっ子」

3 子どもに育みたい力

夢を実現する力

一人ひとりが、多様な個性・能力を伸ばし、夢の実現に向けて主体的に人生を切り拓いていく力

- ◆基礎的・基本的な知識・技能
- ◆思考力・判断力・表現力
- ◆学習意欲
- ◆たくましく生きるための健康や体力
- ◆問題解決能力 等

社会を拓く力

個性や社会の多様性を尊重し、人とつながり、共に学び合い、支え合い、高め合って、社会を築き、リードする力

- ◆人間関係力 ◆名張を愛する心
- ◆人権を尊重する意欲・態度
- ◆規範意識 ◆感動する心
- ◆新しい価値を創造する力
- ◆社会をよりよくする力 等

4 基本方針

① しっかりつなぐ育ちのバトン (縦の接続を重視した教育)

子どもの育ちや学びの課題を解決するとともに、「夢を実現する力」、「社会を拓く力」を育む新たな教育の実現を図るため、第一次教育ビジョンにおいて築いた中学校区単位の保育所（園）・幼稚園・小中学校の連携の次のステージとして、子どもの育ちと学びの連続性・系統性を重視した小中一貫教育を実施します。

4 基本方針

② がっちり組もう育ちのスクラム (横の連携を大切にした教育)

学校、家庭、地域、関係機関がそれぞれの役割と責任を自覚し、市民総ぐるみで子どもの育ちを支援するため、学校運営とその他の教育活動をサポートする機能として、「名張版コミュニティ・スクール」を創設するとともに、「（仮称）生涯学習センター」機能を構築します。また、誰もがやりがい、生きがいを感じながら活躍できる地域コミュニティづくりに寄与する拠点としての学校づくりを推進します。さらに、ふるさと学習の充実や、体力向上に向けて、郷土資料館や文化施設、体育施設等との連携を促進します。

4 基本方針

③ぐんと高める育ちのシステム (教育センターを拠点とした教育)

教育の要は、教職員の教育力（授業力・指導力）にあります。いかに社会が変化しようとも、教職員が信念をもって子どもの「夢を実現する力」「社会を拓く力」を高められるよう、教育センターを拠点に、時代のニーズとともに教職員のニーズに合った多様な研修を実施し、教職員の教育力の向上を図ります。さらに、家庭や地域の教育力向上に寄与するよう、教育や子育てに関わる調査・研究、研修や情報の収集・発信、相談等を一元化し、学校、家庭、地域、関係機関と連携して、子どもの育ちと学びを一体的に支援します。

5 体系図

めざす子ども像：夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ばりっ子」

子どもに育みたい力
夢を実現する力・社会を拓く力

基本方針

- 1 しっかりつなぐ育ちのバトン
- 2 がっちり組もう育ちのスクラム
- 3 ぐんと高める育ちのシステム

新たな取組

- 1 小中一貫教育の推進
- 2 名張版コミュニティ・スクールの創設
- 3 (仮称)生涯学習センター機能の構築
- 4 教育センター機能の充実

基本目標と主な取組

- 基本目標 1 確かな学力の向上
- 基本目標 2 豊かな人間性の醸成
- 基本目標 3 健やかな体の育成
- 基本目標 4 活力ある学校づくり
- 基本目標 5 安全で安心な教育環境の整備
- 基本目標 6 家庭・地域との協働の推進

第4章 新たな取組



1 小中一貫教育の推進

小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指し、義務教育9年間を通じて子どもの発達に合った学びを実現するため、小中一貫教育の取組を推進します。

①小中一貫教育フロンティア事業

- ▶ 育ちと学びの連続性と系統性を大切にする小中一貫教育のモデル校を指定し、調査・研究を行うとともに、その検証結果を市内全域での小中一貫教育の導入に生かします。

②スタートカリキュラムの編成

- ▶ 幼児期の年長から小学校の低学年の期間を、子どもの発達や指導方法の連続性を踏まえた接続期と捉え、この接続期の「スタートカリキュラム」を編成します。

③グローバル人材の育成

- ▶ 地球規模の視野を持ちながら地域の課題にも主体的に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献するグローバルな子どもを育成するため、名張市独自で英語教育やふるさと学習等のカリキュラムを編成します。

④教職員の他校種免許状取得の推進

- ▶ 小中一貫教育のスムーズな導入に向けて、県教育委員会と連携し、小中学校教員免許状を併有した教職員の確保を推進します。また、国の動向を踏まえながら、教職員が小中学校で指導できるよう他校種免許状の取得を推進します。

2 名張版コミュニティ・スクールの創設

学校、家庭、地域がともに知恵を出し合い、地域づくり組織等と連携・協働しながら子どもの豊かな成長を支え、学校が、地域コミュニティの絆・生きがいづくりの核となるよう、名張版コミュニティ・スクールの創設します。

①名張版コミュニティ・スクール「（仮称）ぱりっ子応援学校」の創設

- ▶ 地域コミュニティの核となる学校づくりを目指し、名張版コミュニティ・スクールの創設に向けて、調査・研究を実施し、その検証結果を市内全小中学校のコミュニティ・スクールの創設に生かします。また、コミュニティ・スクール先進校の実践事例も参考にし、放課後子ども教室等の教育支援活動の促進を図りながら、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指します。

②学校運営の改善を果たすPDCAサイクルの確立

- ▶ コミュニティ・スクールの機能と学校支援や学校関係者評価等の機能を一体的に推進することで、学校運営の改善を果たすPDCAサイクルを確立します。

3（仮称）生涯学習センター機能の構築

活力あるコミュニティが市民の学習を支え、社会を生き抜く力をともに培い、市民の学習がコミュニティを形成・活性化させるという好循環システムの確立に向けて、地域の資源を結び、市民のネットワーク拠点となる（仮称）生涯学習センター機能を構築します。

①学び続けられる場・絆づくりの場の整備・充実

- ▶ 市民が生涯にわたって学び続けることが出来る場とともに、その学習した成果を地域に還元し、市全体の絆をつくり上げていく場として、（仮称）生涯学習センター機能を構築します。また、その機能を活用し、子どもの学びと育ちを支援する体制の整備・充実を図ります。

②指導者の養成

- ▶ 市民が（仮称）生涯学習センターで身に付けた、高い専門性、実践能力を学校や地域の学習の場で生かすことにより、やりがい、生きがいの創造に寄与します。また、地域を愛し、地域に学び、地域に誇りをもち、地域を大切にする子どもの育成を目指したふるさと学習等を指導する人材や地域の指導者として活躍する人材を養成します。

4 教育センター機能の充実

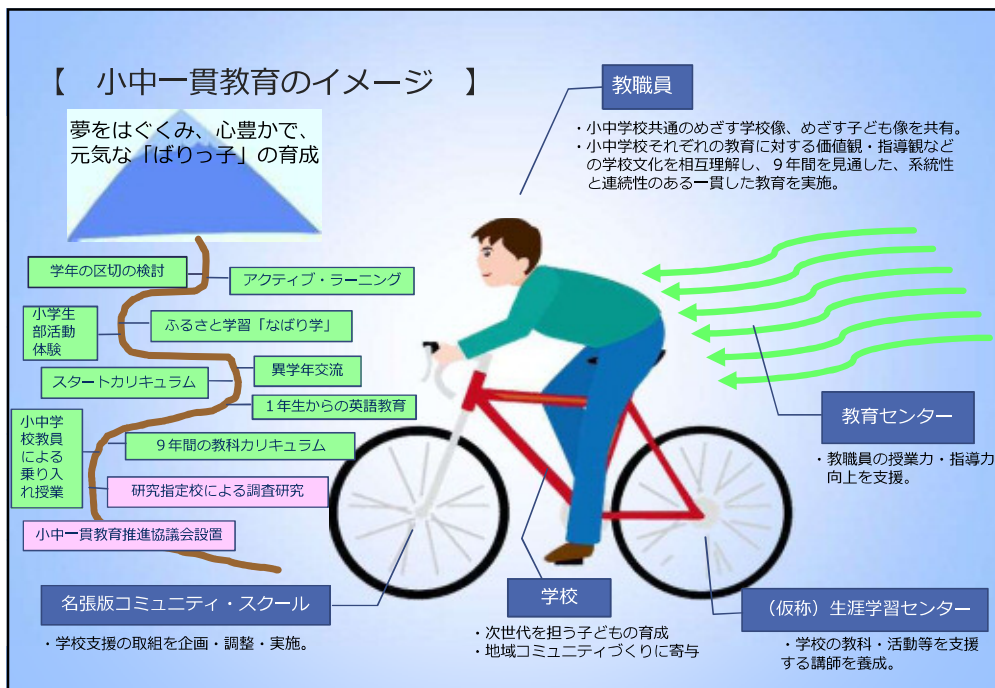
学校、家庭、地域が一丸となって、子どもの育ちを支援するための拠点施設である教育センター機能をより充実させ、子どもの育ちと学びを一体的に支援します。

①教育センター機能の充実

- ▶ 教育センターの研修講座を体系化し、社会の情勢や学校の教育課題を考慮した、教職員にとって満足度・活用度の高い研修を実施します。また、教育に関する調査・研究を学校の教職員や大学等の教育関係機関と連携して進めます

②学校や家庭への支援

- ▶ 学校生活支援ボランティア等の学校教育に関わる人材の確保・活用や家庭教育連続講座の受講者が地域で講座を開設する仕組みの構築等、学校や家庭を支援する体制の強化を（仮称）生涯学習センターと連携して進めます。



【 名張版コミュニティ・スクールのイメージ 】

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）
地域住民の学校運営への参画



学校運営協議会

◆学校運営協議会委員として、子どもの教育に関する目標・課題を共有し、様々な場で学校支援の取組を企画・調整・実践する。

学校支援地域本部

- ◆ボランティアの募集・派遣
- ◆学校の活動支援

派遣

活動へ反映



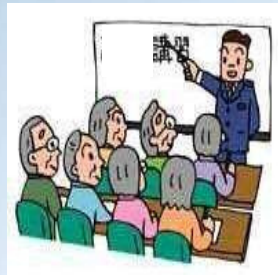
【（仮称）生涯学習センターのイメージ】

（仮称）生涯学習センター
地域の指導者として活動できる人材を養成

市民が、変容する時代に対応し、新しい知識と教養を身に付け充実した生活を創造するとともに、地域社会の発展に寄与することのできる人材を養成する市民大学。

（講座例）

- ◆地域の課題解決のためのリーダー養成
- ◆次世代育成
- ◆スポーツを普及する人材養成
- ◆趣味を深めるライセンスの取得



学校

- ◆ふるさと学習
- ◆英語活動
- ◆クラブ活動
- ◆防犯・防災教育
- ◆食育
- ◆農業等の体験学習
- ◆保護者対象の家庭教育講座 等

生きがい・やりの享受

学校の活動支援



第5章 基本目標と主な取組

基本目標

主な取組

基本目標1 確かな学力の向上

- (1) 学力の向上
- (2) 特別支援教育の推進
- (3) キャリア教育の充実
- (4) 情報教育の推進とICTの活用
- (5) 就学前教育の充実
- (6) グローバル人材の育成

基本目標2 豊かな人間性の醸成

- (1) 人権・同和教育、道徳教育の推進
- (2) ふるさと学習「なばり学」の推進
- (3) 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進
- (4) 読書活動・文化芸術活動の推進

第5章 基本目標と主な取組

基本目標

主な取組

基本目標3 健やかな体の育成

- (1) 健康教育の推進
- (2) 体力向上に向けた取組の推進
- (3) 食育の推進

基本目標4 活力ある学校づくり

- (1) 教職員が働きやすい環境づくり
- (2) 学校の組織力の向上
- (3) 教職員の指導力の向上

第5章 基本目標と主な取組

基本目標

基本目標5 安全で安心な
教育環境の整備

基本目標6 家庭・地域との
協働の推進

主な取組

- (1) 子どもの安全安心の確保
- (2) いじめや問題行動を未然に防ぐ学校づくり
- (3) 居心地の良い集団づくり
- (4) 学校の規模・配置の適正化の推進

- (1) 家庭の教育力の向上
- (2) 地域の教育力の向上

以上、名張市子ども教育ビジョン（素案）
についての説明を終わります。